

第3学年 道徳科(人権)学習指導案

1 主題 自他を認めて

2 主題設定の理由(省略)

3 ねらい 自分や友達によさに気付かせ、自分も友達も大切にしようとする態度を育てる。

4 指導計画

(1)これまでの学習

- ・学級活動「チーム名を考えよう」…………… | 時間
- ・道徳科「楽しいな学校」…………… | 時間
- ・道徳科「泳げた二十五メートル」…………… | 時間

(2)現在の学習

- ・道徳科「うれしく思えた日から」…………… | 時間(本時)

(3)これからの学習

- ・道徳科「ともだち」…………… | 時間
- ・学級活動「友達へのメッセージ」…………… | 時間

5 本時の学習

(1) 目標 友達が気付いた自分のよい所を紹介し、友達から大切な存在だと思われていることに気付かせ、自分も友達も大切にしようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値 B-(5) 相互理解、寛容

(2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習課題をつかむ。	○ 資料を範読し、本時の学習課題をつかませる。
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 20px;">「ぼく」はどうして変わることができたのだろう</div>	
2 「ぼく」の気持ちの変化について考える。	○ 自分には何の取り柄もないと思っていた「ぼく」が、友達や家族の声をきっかけに、自分のよい所に気づき、自信をもつことができたことをおさえる。 ①
3 友達が気付いた自分のよい所について話し合う。	○ 友達のよい所を伝え合い、自分にもよい所があることに気付かせる。
4 本時の学習を振り返る。	○ 学習したことを振り返り、自分も友達も大切にしていこうとする意欲を高める。 ②

(4) 評価

- ・「ぼく」が、友達や家族の言葉によって、自信をもつことができたことを理解することができたか。
(知識的側面)①
- ・自分にも友達にもよい所があることに気づき、どちらも大切にしようとする意欲をもつことができたか。
(価値的・態度的側面)②